

腎臓内科

診療科のご紹介

宝塚市立病院腎臓内科では、宝塚市周辺地域における腎臓内科としての専門的な医療を担い、内科的な腎臓疾患についての診療と透析治療を始めとする種々の血液浄化療法を行っています。

腎臓病の治療では、薬物療法・食事療法・生活改善療法が治療の3本柱です。各種腎症の治療では、ステロイド療法、免疫抑制薬、抗血小板薬、抗凝固療法などの薬物療法や食事療法、生活指導などの治療を行います。慢性糸球体腎炎やネフローゼ症候群、ループス腎炎などには、病状に応じて腎生検を実施、診断、治療を行います。我が国では、透析導入の原因疾患第1位は糖尿病性腎症であり、糖尿病性腎症について、専門的外来としての診療を行っています。

今日では、末期腎不全のため透析療法を始める患者数が年々著しく増加していますが、慢性腎臓病（CKD）は末期腎不全に至るリスクであることに加えて、心血管病発症の高いリスクであることも知られています。心血管病の予防や治療において、慢性腎臓病（CKD）対策は重要であり、当科においても慢性腎臓病（CKD）症例に対して、低蛋白・十分カロリー・減塩食と表される食事療法の指導や運動制限、禁煙などの生活指導、そしてさまざまな薬物療法を行うことで、集約的なCKD治療を実践しています。

現代は、糖尿病や高血圧、脂質異常症、動脈硬化症、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病が増加し国民病となっておりますが、これらの生活習慣病と腎臓病とは密接な関係が見られます。腎臓内科では、内科全般に広く眼を向け、他の診療科との協調を図り、総合的な診療を心がけることが大切と考えています。

腎臓内科外来では、原則として予約診療を行っており、緊急の場合を除けば予約による再来患者（再診患者）の診療を実施しています。一方、初診紹介患者診療については、かかりつけのクリニック、診療所での担当医から、本院の地域医療室を通じて診察予約をして頂き、午後2時30分からの初診予約外来診察を行っています。通常の腎臓内科外来は再診の予約患者診療を行っていますので、予約をされていない来院、診察の場合には、申し訳ありませんが、診察まで長い時間待つて頂くことがございます。その他、特殊外来診療として、火曜日・木曜日の午後15時～18時に腹膜透析外来を行っています。

血液浄化療法センターには、同時透析30床の透析装置や血漿交換装置、持続的緩徐式血液濾過透析装置などを備えており、血液透析、血漿交換、LDL吸着

療法、持続的緩徐式血液濾過透析（CHDF）、エンドトキシン吸着療法、難治性胸腹水濃縮療法など、各種の血液浄化療法を実施しています。

診療の対象となる症状

蛋白尿、腎機能障害、浮腫、学校検尿や職場健診での検尿異常など。

対象疾患

腎臓内科で診療を行う疾患には、次のものがあります。

急性糸球体腎炎、
慢性糸球体腎炎、IgA腎症、ネフローゼ症候群、
急速進行性糸球体腎炎、ANCA関連腎炎、
抗糸球体基底膜抗体腎炎、紫斑病性腎炎、
糖尿病性腎症
骨髄腫腎、アミロイド腎、軽鎖沈着症、HUS、
尿細管性アシドーシス、Bartter症候群、Gitelman症候群、
急性間質性腎炎、
電解質異常、
高ナトリウム血症、低ナトリウム血症、
高カリウム血症、低カリウム血症、
高カルシウム血症、低カルシウム血症、
SIADH、腎性尿崩症、
高血圧症、腎性高血圧、悪性高血圧、
高尿酸血症、骨粗鬆症
急性腎不全、
慢性腎臓病（CKD）、保存期慢性腎不全、
副甲状腺機能亢進症、CKD-MBD、腎性骨症、
透析腎不全の各種合併症など、
各種の血液浄化治療